

双曲的な流れにおける相関の減衰と力学系のゼータ関数

辻井 正人（九州大学）

力学系における相関の減衰の問題とゼータ関数の収束域や特異点についての問題はともに Ruelle 転移作用素のスペクトルの性質と密接に関係している．もちろん作用素のスペクトルは作用する関数空間に依存するので，良い性質を得るためには力学系の性質に応じた適切な関数空間を選ぶ必要がある．この点について，ここ数年，転移作用素の作用する空間としてある種の超関数の空間をとって研究が試みられ，いくつかの重要な成果が得られている．本講演ではそのような方向の研究について，最近興味を持っている双曲的な流れや拡大的な半流の場合を主にして述べたい．